



+++
+++
+++

外国につながる市民の方へ
—こんなときはお問い合わせを！—

自分に合う日本語学習を知りたい

● 日本語教育コーディネーター



あなたに適した教室や、日本語学習の方法をアドバイスします

対面の教室に通えない

● 社会生活に役立つ 千葉市日本語学習プログラム



eラーニングとスクーリングで日本語が学べます

好きな活動を通して交流したい

● 多文化ウェルカム団体



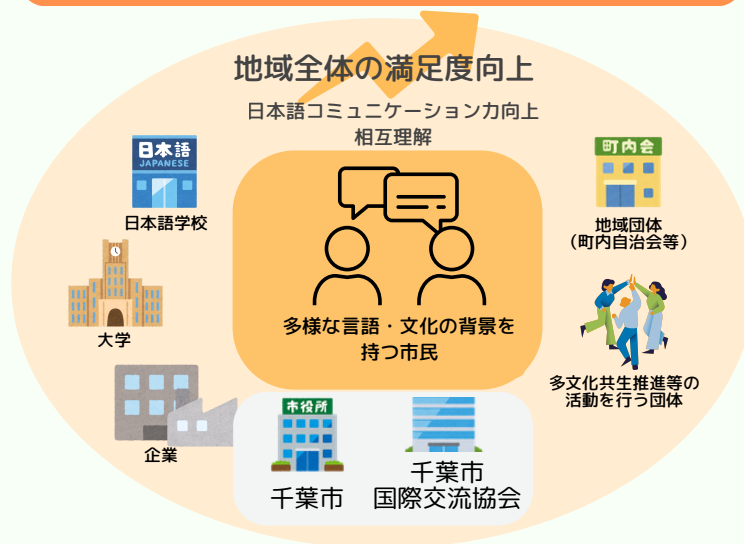
サークル活動やボランティア活動をしながらか地域住民と交流できる団体を紹介します

千葉市の人口の4.4%(*1)は外国人住民で、年々割合が増えています。また日本国籍であっても日本語が母語ではない市民もいます。ここでは両者を含めて「**外国につながる市民**」と表記します。千葉市では、多様な言語・文化の背景を持つ市民がことばを通じて理解しあうための環境づくりを目的として、**地域日本語教育推進事業**を実施しています。この事業では、外国につながる市民の**日本語習得の場の充実**、および**社会の理解促進**にさまざまな活動主体と連携して取り組んでいます。このリーフレットは令和7年度の事業成果をご報告するものです。

*1 令和8年1月末現在、千葉市データ

めざす姿

「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通できるようになることにより、社会生活および日常生活を円滑に営むことができる



問い合わせ先

(公財)千葉市国際交流協会

千葉市中央区中央3-3-1
フジモト第一生命ビルディング2階

043-306-1034

詳しくはホームページを
ご覧ください

<https://ccia-chiba.or.jp/>

千葉市国際交流協会



文部科学省
令和7年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

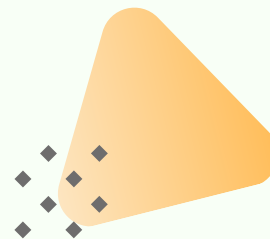
ことばをとおして、
ともにまなび、ともにくらすために

ちばし にほんご

令和 7 年度
千葉市地域日本語教育推進事業
成果報告

千葉市・(公財)千葉市国際交流協会

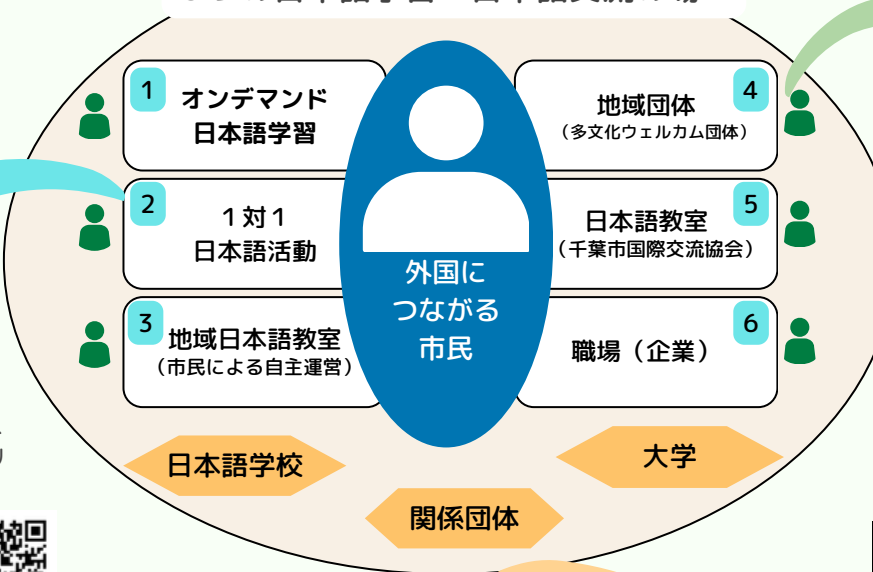
+++
+++
+++



外国につながる市民の日本語習得の場の充実

まちの中では、ほとんどの情報のやりとりが日本語で行われています。外国につながる市民にとって、日本語で情報入手や意思疎通ができれば、より円滑な生活や個人の活躍が期待できます。日本語習得促進のために、事業では右図の6つの場の充実を図りました。

6つの日本語学習・日本語交流の場



1 オンデマンド日本語学習プログラム

対面の教室には通えない・自分のペースで学びたい、というニーズに応えるため、eラーニングとスクーリングを組み合わせたプログラムを運用しています。

A1レベル 受講者 39人
A2レベル (提供開始8月～) 受講者数 12人



プログラム紹介

2 1対1日本語活動

日本語交流員と組み合わせをして、知り合いを増やすきっかけづくりをし、日本語による会話実践、対話・交流、生活情報獲得の場を提供しました。

活動期間 1組3ヶ月 参加95組

3 地域日本語教室支援

千葉市内の市民が自主運営する日本語教室・日本語学習支援団体を対象に団体の希望に応じた研修を実現する研修支援を実施しました。研修支援3団体

教材の使い方など、実践的な紹介があった

最新の情報が得られてよかった

地域日本語サロン立ち上げ支援

日本語交流員や市民が有志で実施する日本語サロンの立ち上げを支援しました。

4 多文化ウェルカム団体登録紹介制度

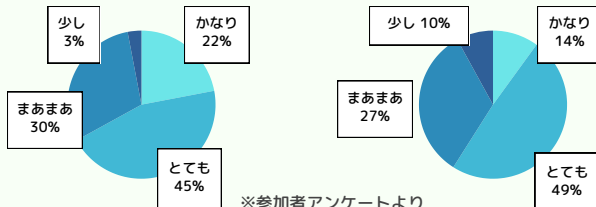
多様な文化・価値観を積極的に受け入れる団体(サークル等)を「多文化ウェルカム団体」として千葉市国際交流協会ウェブサイトで紹介し、外国につながる市民の地域参画のきっかけづくりをしました。紹介8団体

5 千葉市国際交流協会 日本語教室

主体的・協働的に学ぶ、モデルとしての日本語教室を実施しました。生活や仕事の場で周囲の人と関係を築くための自己表現、およびライフステージやニーズに合わせて生活に役立つ日本語を中心に学ぶカリキュラムを用いました。

初級1クラス 2時間×30回×2期
初級2クラス 2時間×20回×1期
グループ学習クラス 2時間×12回×6期
オンライン日本語交流クラス 1時間×4回×3期
参加者計 281人

Q「日本語を使うことに自信がついた」Q「日本語で話せることが増えた/増えそう」



※参加者アンケートより

日常生活で使えるので学ぶ意欲が高まる

日本人と交流する機会が増えるのはとてもいい

6 企業向け支援

外国人従業員を雇用している事業所を対象に、①外国人従業員とその家族のための日本語教育に関する相談、②外国人従業員とのコミュニケーション向上研修を行いました。支援 6団体

交流や日本語習得支援の担い手の育成

日本語交流つなぎて講座

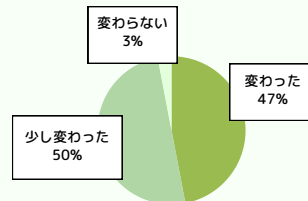
ことばや文化の壁を越えて、外国につながる市民を地域につなぐ仲介者を、「つなぎて」と呼んでいます。つなぎてを育成するための講座を実施しました。多文化共生やコミュニケーションについて、全5回で学んだ方たちが、左図の場で活躍しています。

2時間×5回×2期 参加者 47人

Q講座に参加したことによって、地域在住の外国人等に対する意識や接し方が変わりましたか。



講座紹介



身近にいる外国出身の個々人の背景にある文化や習慣について、もっと知りたいと思った

日本語がまだ十分にわからない外国出身の人たちと接してみようと思った

※参加者アンケートより

フォローアップ講座

交流・支援に必要な新しい知識や実践に役立つ方法を提供し、活動の意欲向上につなげることができました。

2時間×3期 参加者 72人

相手のニーズや文化的背景、心理的負担への理解が深まった

日常の声かけやコミュニティ参加の橋渡しなど、地域での関係づくりを大切にしたいと感じた

やさしい日本語/多文化理解研修

相互理解のためのやさしい日本語を若年層や地域住民が集まるイベント内等で実施しました。対面3件、オンライン1件

広報・ネットワーク

シンポジウム、情報交換会

本事業5年目の節目としてシンポジウムを開催しました。またシンポジウムの第2部として日本語教育/日本語学習支援の関係者による情報交換会・意見交換会を開催しました。

第1部 事業報告・基調講演・パネルトーク
第2部 情報交換会・意見交換会
パネル展示

参加者計 85人

千葉市の日本語教育について知ることができた。
現状や課題を知ることができた。

いろいろな立場の方の活動状況を知ることができた。